PocketJet

取扱説明書

PJ-623/PJ-663

モバイルプリンター

- ご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
- 本書はお読みになったあとも、大切に保管し、いつでも見ることができるようにしてください。

Version 0

JPN

はじめに

このたびは、モバイルプリンター　PocketJet PJ-623/PJ-663（以下「本機」）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本機は、感熱式のモバイルプリンターです。ご使用になる前に、必ず、「取扱説明書」（本書）、「安全にお使いいただくために」、「P-touch Editor ソフトウェアユーザーズガイド」をお読みください。本書はお読みになったあとも、いつでも手にとって見られるようにしてください。

本書で使用されている記号

本書にある以下の記号は、重要度によって追加情報を表示するために使用します。

❗	この記号は、従っていただく情報や手順を表しています。 もし手順に従っていただけない場合は、故障や誤動作の原因となる場合があります。
📝	この記号は、本機をよりよく知っていただくための情報や手順、または機能的に使っていただくための情報や手順を表しています。

本書について

本書（PDF）は、CD-ROM で提供されています。

メモ

本書はコンピューターで Adobe® Reader® を使ってご覧になる場合、リンク設定がある場所ではマウスポインターが☝に変わります。その場合、クリックするだけで参照するページに移行します。
Adobe® Reader® の基本機能については、Adobe® Reader® ヘルプファイルを参照してください。

目次

1 本機の設定

各部の名称

1 ⏻（電源）ボタン
2 （フィード）ボタン
3 **POWER** 表示ランプ
4 **DATA** 表示ランプ
5 **STATUS** 表示ランプ
6 （**Bluetooth**）表示ランプ （**PJ-663** のみ）
7 排紙カバー
8 用紙排出口
9 ティアバー
10 用紙挿入口
11 **IrDA** （赤外線）受発光部
12 **USB** ポート
13 **AC/DC** コネクタ
14 充電池カバーロック
15 充電池カバー
16 充電池取り外しリボン
17 充電池収納スペース

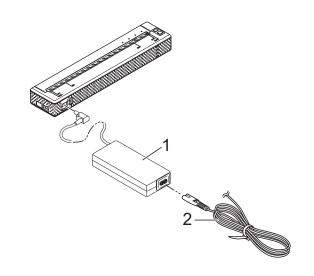
電源の接続

AC アダプターで接続する

電源コンセントに本機を接続して本機に電源を供給したり、充電池を充電します。

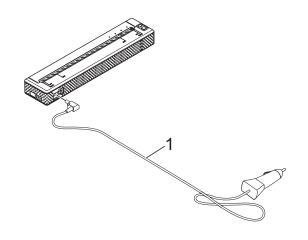
1. AC アダプターに本機を接続します。
2. 電源コードをACアダプターに接続します。
3. 電源コードを近くの電源コンセントに差し込みます（AC100V、50/60 Hz）。

1 **AC** アダプター
2 電源コード

メモ

AC アダプターをご利用になる時は、束ねているコードをほどいてください。

カーアダプターで接続する（別売品）

車の 12 V 電源コンセント（シガレットライター部など）に本機を接続して、本機に電源を供給したり、充電池を充電します。

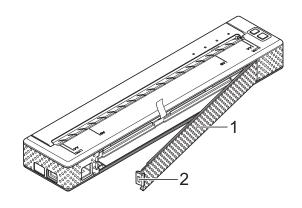
1. カーアダプターを車の 12 V 電源コンセントに差し込みます。
2. カーアダプターを本機に接続します。
3. 車のエンジンを始動して本機の電源を入れます。

1 カーアダプター

メモ

- カーアダプターは別売品です。
- 車両から供給される電圧は一定ではなく、変動します。本機の印刷速度は、供給される電圧によって異なります。

ニッケル水素充電池を使用する

ニッケル水素充電池を装着する

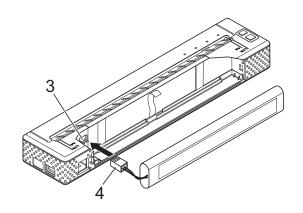
1. 充電池カバーのロックを押しながら、充電池カバーを開けます。

1 充電池カバー

2 充電池カバーロック

2. カバーを手前に引いて、取り外します。
3. 充電池コネクタの向きを確認して、充電池収納スペース内部の端子に充電池コネクタを差し込みます。

3 端子

4 充電池コネクタ

メモ

本体が上図の向きのとき、4　充電池コネクタは、赤い線の部分が左側となります。

4 充電池収納スペース内の充電池取り外しリボンの先を持ってください。ニッケル水素充電池を取り外すときに、リボンを持って引くことができるくらい十分に、リボンの先が充電池収納スペースから出ていることを確認してください。

5 リボンを持ちながら、ニッケル水素充電池を傾けて、充電池収納スペースに挿入し、しっかりと押し込んでください。

メモ

- ニッケル水素充電池のラベルに「Ni-MH」と表示されている側が充電池収納スペースの外側に向くようにして装着してください。逆向きに装着すると充電池カバーが閉じません。
- ニッケル水素充電池は、過熱したときに電気の流れを止める熱センサーが装備されています。

6 充電池収納スペースの端（AC/DC コネクタの反対側）に充電池カバーをはめて、カバーを閉めてください。
必要に応じて、静かに AC/DC コネクタの方向へ充電池カバーロックを押し、しっかりとカバーを閉じてください。

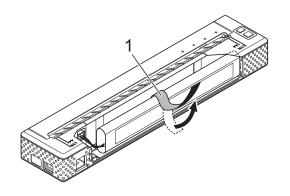
メモ

- 充電池コネクタのコードをカバーで挟まないように注意してください。
- ニッケル水素充電池から供給される電圧は一定ではなく、変動します。本機の印刷速度は、供給される電圧によって異なります。

ニッケル水素充電池を取り外す

1 充電池カバーロックを押しながら、充電池カバーを開けます。

2 カバーを手前に引いて、取り外します。

3 ニッケル水素充電池が傾き始めるまで、充電池取り外しリボンを静かに引っ張ります。

1 充電池取り外しリボン

メモ

もし、充電池取り外しリボンが充電池の背後に入ってしまっている場合は、充電池と充電池収納スペースのすき間にマイナスドライバーのような薄い金属物を入れて、充電池を持ち上げて、充電池を取り外してください。その際、充電池の被服を傷つけないよう注意してください。

4 ニッケル水素充電池収納スペースから取り出してください。

5 充電池収納スペース内部の端子から充電池コネクタを静かに引っ張って、取り外します。

ニッケル水素充電池を充電する

次の手順でニッケル水素充電池を充電してください。

メモ

- ニッケル水素充電池をご購入された直後に、以降の手順で充電を行ってからご使用ください。
- ニッケル水素充電池を満充電にするには約 120 分必要です。新品のニッケル水素充電池では、満充電状態から約 70 枚（A4 換算）の印刷が可能です。

1. ニッケル水素充電池を本機に装着します。
2. 本機に AC アダプターと電源コードを接続して電源コンセントに差し込むか、または本機にカーアダプターを接続して車の電源ソケットに差し込みます。
3. 本機の電源が入っていないことを確認します。
4. ⏻ (電源) ボタンを POWER 表示ランプが緑色とオレンジ色に点滅を始めるまで、数秒間押します。

メモ

- POWER 表示ランプが緑とオレンジに点滅しているときは、充電池に残っている電気を放電して、充電池のリフレッシュを行っています。詳しくは、「ニッケル水素充電池の特性について」(5 ページ) をご覧ください。
- PJ-600 シリーズ　ユーティリティの設定によっては、充電池のリフレッシュを行わずに、ニッケル水素充電池の充電が始まる場合があります。詳しくは、「Ni-MH 充電池自動リフレッシュ」(33 ページ) をご覧ください。
- ニッケル水素充電池の電気残量が多い場合は、充電池のリフレッシュを行わない場合があります。
- ニッケル水素充電池のリフレッシュ中に、⏻ (電源) ボタンを長押しすると、リフレッシュを中断して、充電を開始します。

5. ニッケル水素充電池は、リフレッシュを完了すると、自動的に充電を開始します。
   充電が完了するまで、POWER 表示ランプが緑色に点滅します。
   充電が完了すると、POWER 表示ランプが消灯します。

ニッケル水素充電池の充電を中止するには

ニッケル水素充電池の充電を中止するには、⏻ (電源) ボタンを 2 回すばやく押します。

ニッケル水素充電池について

- ニッケル水素充電池は、購入された直後に、充電を行ってからご使用ください。
- ニッケル水素充電池は、使用していなくても時間の経過とともに少しずつ放電され、電気量が減っていきます。
- 本機を電源コンセントに接続している間は、微弱な電流を流して充電し続けています。これを「トリクル充電」といいます。放電による電気残量の低下を抑えられます。このため、本機にニッケル水素充電池を装着している際は、ご使用にならない場合でも電源コンセントに接続することをお勧めします。
- ニッケル水素充電池の充電可能な温度範囲は 5 ℃～ 35 ℃です。この範囲内の温度環境で充電を行ってください。
- ニッケル水素充電池は、濃度設定を濃くして印刷すると、薄い印刷よりも早く、電気を消耗します。印刷濃度はプリンタードライバーの設定画面 (「プリンタードライバーの設定」(21 ページ)) または、PJ-600 シリーズ　ユーティリティ (「印字濃度」(35 ページ)) で設定できます。
- ニッケル水素充電池が充電後にも関わらず、急に電気容量が少なくなった場合は、充電池を取り替える前に充電池のリフレッシュをお試しください。

本機を長期間使用しないときは

- 本機を長期間使用しないときは、ニッケル水素充電池を外して、直射日光の当たらない、涼しい場所に保管してください。
- 長期間使用していないニッケル水素充電池は、過放電や不活性化した状態になっている場合があります。過放電や不活性化を防ぐためにも 3ヶ月に 1 回は充電池のリフレッシュと充電を行なうことをお勧めします。
- その他の注意事項については、ニッケル水素充電池に付属の取扱説明書をご覧ください。

ニッケル水素充電池の特性について

■ 放電

ニッケル水素充電池の電気が消耗されることを放電と言います。充電池は使用していなくても、時間の経過と共に少しずつ放電され、電気の量が減っていきます。電気が完全に放出されたときは、再充電するまで使用できません。

■ リフレッシュ

リフレッシュは、ニッケル水素充電池を充電する際、最大限に充電することができるように、一旦、充電池に残っている電気の放電を行うことを言います。⏻（電源）ボタンを POWER 表示ランプが緑色とオレンジ色に点滅を始めるまで、数秒間押します。詳しくは、「Ni-MH 充電池自動リフレッシュ」（33 ページ）をご覧ください。

■ 過放電

ニッケル水素充電池が放電しすぎて、ある一定の終止電圧以下になることを過放電と言います。過放電は、充電するとある程度回復しますが、電池性能は以前のようには戻りません。
過放電にならないように、定期的に充電を行ってください。

■ 不活性化

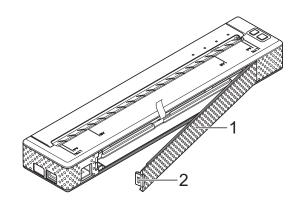
不活性化とは、長期間使用していないとニッケル水素充電池内部の化学反応力が低下して、使用時間が短くなることを言います。これは一時的なもので、1 時間ほどトリクル充電を行ってから、充電を行ってください。ただし、1 年以上使用していない場合は、元に戻らないことがあります。

■ トリクル充電

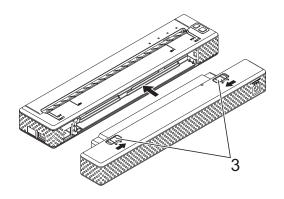
トリクル充電とは、微弱な電流を流して充電し続けることを言います。充電池は使用しなくても、時間の経過と共に少しずつ放電され、電気の量が減ってきます。トリクル充電はそれを防ぎます。

リチウムイオン充電池を使用する（別売品）

リチウムイオン充電池を装着する

1. 充電池カバーのロックを押しながら、充電池カバーを開けます。

1 充電池カバー

2 充電池カバーロック

2. カバーを手前に引いて、取り外します。
3. リチウムイオン充電池のスライドスイッチを内側にスライドさせて、充電池を充電池収納スペースにはめ込みます。

3 スライドスイッチ

メモ

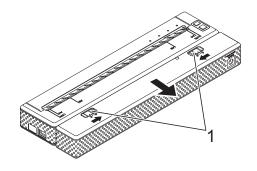
リチウムイオン充電池を装着するときは、充電池取り外しリボンを充電池収納スペース内にしまってください。リチウムイオン充電池を取り出すときは、充電池取り外しリボンは必要ありません。

4 スライドスイッチを元の位置（外側）へスライドさせて、充電池を本機に接続します。

メモ

リチウムイオン充電池から供給される電圧は一定ではなく、変動します。本機の印刷速度は、供給される電圧によって異なります。

リチウムイオン充電池を取り外す

リチウムイオン充電池のスライドスイッチを内側にスライドさせて、本機からリチウムイオン充電池を取り外します。

1 スライドスイッチ

リチウムイオン充電池を充電する

リチウムイオン充電池は、本機に取り付けた状態でも、充電池単体でも充電することが可能です。

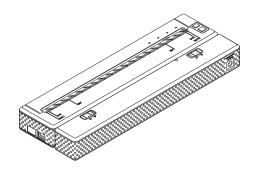
次の手順でリチウムイオン充電池の充電を行ってください。

メモ

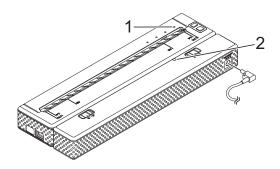
- リチウムイオン充電池は、購入された直後に、以降の手順で充電を行ってからご使用ください。
- リチウムイオン充電池を満充電にするには、AC アダプターと接続して約 180 分必要です。新品のリチウムイオン充電池では、満充電状態から約 300 枚（A4 換算）の印刷が可能です。

本機に取り付けて充電する

1 本機の電源が入っていないことを確認します。

2 リチウムイオン充電池が本機に取り付けられていることを確認します。

3 リチウムイオン充電池に AC アダプターと電源コードを接続して電源コンセントに差し込むか、または充電池にカーアダプターを接続して車の電源コンセントに差し込みます。

充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。

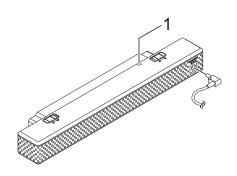
充電を完了すると、充電表示ランプが消灯します。

1 **POWER** 表示ランプ

2 充電表示ランプ

リチウムイオン充電池単体で充電する

リチウムイオン充電池に AC アダプターと電源コードを接続して電源コンセントに差し込むか、または充電池にカーアダプターを接続して車の電源コンセントに差し込みます。

充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。

充電を完了すると、充電表示ランプが消灯します。

1 充電表示ランプ

リチウムイオン充電池の充電を中止するには

リチウムイオン充電池の充電を中止するには、電源コードまたはカーアダプターを充電池の AC/DC コネクタから抜きます。

リチウムイオン充電池について

- リチウムイオン充電池は購入された直後に、充電を行ってからご使用下さい。
- リチウムイオン充電池は、濃度設定を濃くして印刷すると、薄い印刷よりも早く、電気を消耗します。印刷濃度はプリンタードライバーの設定画面（「プリンタードライバーの設定」（21 ページ））または、PJ-600 シリーズ　ユーティリティ（「印字濃度」（35 ページ））で設定できます。
- リチウムイオン充電池は、ニッケル水素充電池のように充電池のリフレッシュやトリクル充電を行う必要はありません。
- リチウムイオン充電池の充電可能な温度範囲は 0 ℃～ 40 ℃です。この範囲内の温度環境で充電を行ってください。充電時の環境温度がこの範囲外の場合、リチウムイオン充電池は一旦充電を停止し、充電表示ランプが点灯したままになります。その後、環境温度がこの範囲内に戻った場合は、再び充電を再開します。
- リチウムイオン充電池を本機に装着した状態で、AC アダプターと電源コード、もしくはカーアダプターを接続し、さらに自動電源オフ機能の設定をしている場合は、設定された時間が経過すると本機の電源が切れ、リチウムイオン充電池の充電に移行します（「自動電源オフ（AC/DC/Li-ion）」（33 ページ））。本機の電源を入れてから最大 180 分が経過すると、充電表示ランプが消灯して充電を終了します。

	本機の電源が入っている状態で、本機にリチウムイオン充電池と AC アダプターと電源コード、またはカーアダプターを接続して使用していると、満充電になっていない場合でも、充電表示ランプが消灯して、充電を終了する場合があります。満充電にするためには、本体の電源を切って充電してください。

■ カーアダプターを接続して充電する場合、電源コンセントから供給される電圧が、満充電するために必要な電圧に満たないことがあります。満充電になっていなくても、充電を開始してから最大 180 分が経過すると、充電表示ランプが消灯して充電を終了します。

リチウムイオン充電池の特性について

リチウムイオン充電池を長くご利用いただくために、充電池の性質を理解してご利用ください。

■ 高温、低温でのご使用や保管はリチウムイオン充電池の劣化を早めることがあります。特に高充電状態（充電容量 90% 以上）で、高温環境下にあると、著しく劣化が進みます。

■ 充電しながらのご使用は、リチウムイオン充電池の劣化を早めることがあります。リチウムイオン充電池を装着して本機を使用する場合は、AC アダプターやカーアダプターを抜いてください。

■ リチウムイオン充電池を充電する場合は、できるだけ容量を使い切ってから行ってください。

本機を長期間使用しないときは

■ 本機を長期間使用しないときは、電池残量を 50% 以下にした状態で本機から取り外し、直射日光の当たらない、涼しい場所に保管してください。

■ リチウムイオン充電池を長期間使用しない場合でも、6ヶ月に一度は充電を行うことをお勧めします。

■ その他の注意事項については、リチウムイオン充電池に付属の取扱説明書をご覧ください。

充電池の概要

本機では 2 種類の充電池が使用可能です。各充電池の特徴については下記をご覧ください。

	ニッケル水素充電池	リチウムイオン充電池
充電池取り付け場所	本機に格納	本機に外付け
印刷時充電	対応	対応
トリクル充電	対応	非対応
充電機構場所	本機内	充電池内
およその充電時間	120 分	180 分
およその印刷ページ数（満充電）	70 枚（A4 換算）	300 枚（A4 換算）
充電池リフレッシュ機能	対応	非対応
充電池単体での充電	非対応	対応

メモ

ニッケル水素充電池は、トリクル充電を必要とするため、普段から電源（AC アダプターと電源コード、またはカーアダプター）を接続してご利用ください。
一方、リチウムイオン充電池は、こまめに充電するとリチウムイオン充電池の寿命を縮めることになりますので、できるだけ電気を使いきってから充電するようにしてください。

プリンタードライバーのインストールとアンインストール

プリンタードライバーをインストールする

メモ

- コンピューターにプリンタードライバーをインストールする前に、USB ケーブルで本機とコンピューターを接続しないでください。もし、接続した場合は「新しいハードウェアウィザード」画面をキャンセルして、本機を外してください。下記の手順でプリンタードライバーをインストールしてください。
- （PJ-663 のみ）Bluetooth を使用してインストールする場合、プリンタードライバーと PJ-600 シリーズ　ユーティリティをインストールする前に、Bluetooth が使用できる環境をセットアップしてください。

Windows® をお使いの場合

1. CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。

2. ［**PC（Windows）**用ソフトウェア］をクリックして、［標準インストール］またはインストールしたい項目をクリックします。

   ［標準インストール］を選択すると、プリンタードライバー、PJ-600 シリーズユーティリティ、P-touch Editor がインストールされます。

3. お使いのモデルを選択します。
4. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
5. ［完了］をクリックしてインストール画面を閉じます。

Mac OS をお使いの場合

1. CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. ［**Mac OS X**］フォルダー内の［**Brother PJ-XXX Driver.pkg**］をダブルクリックすると、ドライバーのインストールが開始されます。
3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. PJ-623 の場合：
   インストールが完了したら、［閉じる］をクリックします。
   PJ-663 の場合：
   インストールが完了したら、［再起動］をクリックします。コンピューターが再起動します。
5. 本機の電源を入れます。
6. Mac OS X 10.4.11:
   Mac OS X がインストールされているドライブをダブルクリックし、［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］をクリックします。［プリンタリスト］画面が表示されます。
   Mac OS X 10.5.x ～ 10.6:
   アップルメニューから［システム環境設定］-［プリントとファクス］をクリックします。
7. コンピューターに本機を追加するために、［追加］/［**+**］ボタンをクリックします。
8. ［**PJ-XXX**］/［**Brother PJ-XXX**］を選択して、［追加］をクリックします。本機がプリンターとして使用できます。

プリンタードライバーをアンインストールする

Windows® をお使いの場合

■ Windows® XP

1. 本機の電源を切ります。
2. ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと **FAX**］をクリックします。
3. ［**Brother PJ-XXX**］を選択し、［ファイル］-［**削除**］をクリック、またはアイコン上で右クリックして［**削除**］を選択します。
4. ［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。［プリントサーバーのプロパティ］画面が表示されます。
5. ［ドライバ］タブをクリックして、［**PJ-XXX**］を選択します。［**削除**］をクリックします。
6. ［プリントサーバーのプロパティ］画面を閉じます。プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

■ Windows Vista®

1. 本機の電源を切ります。
2. スタートボタンから［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］をクリックします。
3. ［**Brother PJ-XXX**］を選択し、［**このプリンタを削除**］をクリック、またはアイコン上で右クリックして［**削除**］を選択します。
4. ［プリンタ］画面内で右クリックして、［**管理者として実行**］-［サーバーのプロパティ **...**］を選択します。
   権限確認画面が表示されたら、［**続行**］をクリックします。
   ［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたら、パスワードを入力して［**OK**］をクリックします。
   ［プリントサーバーのプロパティ］画面が表示されます。
5. ［ドライバ］タブをクリックして、［**PJ-XXX**］を選択し、［**削除 ...**］をクリックします。
6. ［ドライバとパッケージの削除］画面が表示されたら、［**ドライバのみ削除する**］を選択して、［**OK**］をクリックします。
7. ［プリントサーバーのプロパティ］画面を閉じます。プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

■ Windows® 7

1. 本機の電源を切ります。
2. スタートボタンから［**デバイスとプリンター**］をクリックします。
3. ［**Brother PJ-XXX**］を選択し、［**デバイスを削除**］をクリック、またはアイコン上で右クリックして［**デバイスを削除**］を選択します。
   ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、パスワードを入力して［**はい**］をクリックします。
4. ［デバイスとプリンター］画面で［**FAX**］または［**Microsoft XPS ドキュメントライター**］を選択し、メニューバーに表示された［プリントサーバープロパティ］をクリックします。

5 ［ドライバー］タブをクリックして、［ドライバー設定の変更］をクリックします。ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、パスワードを入力して［はい］をクリックします。［**Brother PJ-XXX**］を選択して、［削除 ...］をクリックします。

6 ［ドライバーとパッケージを削除する］を選択して、［**OK**］をクリックします。画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。

7 ［プリントサーバーのプロパティ］画面を閉じます。プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

Mac OS をお使いの場合

1 本機の電源を切ります。

2 Mac OS X 10.4.11:
Mac OS X がインストールされているドライブをダブルクリックし、［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。
［プリンタリスト］画面が表示されます。
Mac OS X 10.5.x ～ 10.6:
アップルメニューから［システム環境設定 ...］-［プリントとファクス］をクリックします。

3 Mac OS X 10.4.11:
［**PJ-XXX**］を選択して、［削除］をクリックします。
Mac OS X 10.5.x ～ 10.6:
［**Brother PJ-XXX**］を選択して、［**-**］をクリックします。

4 ［プリンタリスト］（10.4.11）/［プリントとファクス］（10.5.x ～ 10.6）画面を閉じます。プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

本機とコンピューターを接続する

本機は、USB ケーブルまたは Bluetooth（PJ-663 のみ）で接続することができます。

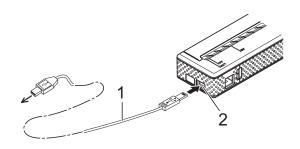
	本機をコンピューターに接続する前に、本機ドライバーをインストールしてください。

メモ

本機は、電源を入れてから最初に接続したインターフェイス（USB または Bluetooth、IrDA）との接続が保持されます。接続インターフェイスを変更したい場合は、一旦電源を切り、再度電源を入れて接続し直してください。

USB で接続する

1 USB ケーブルを接続する前に本機の電源が入っていないことを確認します。

2 USB ケーブルを本機の側面の USB ポートに接続します。

1　USB ケーブル

2　USB ポート

3 USB ケーブルの反対側をコンピューターの USB ポートに接続します。

4 本機の電源を入れます。

Bluetooth で接続する（PJ-663 のみ）

メモ

お使いになる Bluetooth アダプターや Bluetooth 搭載コンピューターのメーカーの推奨に従って、必要なハードウェアやソフトウェアをインストールしてください。

Windows® をお使いの場合

1. お使いの Bluetooth 管理ソフトを使用して本機を検索し、本機とパソコンは、Bluetooth のシリアルポートプロファイル（SPP）で接続します。

メモ

接続設定時に、パスキー（PIN コード）入力画面が表示されたら、本機に設定されているパスキーを入力してください。パスキーの初期値はシリアル番号の下 4 桁です。シリアルポートプロファイル（SPP）に対応していない Bluetooth 搭載コンピューター、または Bluetooth アダプターは、プリンタードライバーを使った印刷機能が使えません。ベイシックイメージプロファイル（BIP）に対応している場合は、「JPEG 印刷について」（40 ページ）をご覧ください。

2. 接続に使用したポート名を確認します。（例：「COM1」、「COM3」などの仮想 COM ポートを利用します。）

3. 本機側のポート設定を変更するため、プリンター設定画面を表示します。
   Windows® XP：
   ［スタート］ - ［コントロールパネル］ - ［プリンタとその他のハードウェア］ - ［プリンタと **FAX**］をクリックします。
   Windows Vista®：
   スタートボタンから［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］ - ［プリンタ］をクリックします。
   Windows® 7：
   スタートボタンから［デバイスとプリンター］をクリックします。

4. Windows® XP / Windows Vista®：
   プリンターアイコン上で右クリックして、［プロパティ］をクリックします。
   Windows® 7:
   プリンターアイコン上で右クリックして、［プリンタープロパティ］をクリックします。

5. ［ポート］タブをクリックします。

6. 手順 ❷ で確認したポート名（"COM" + 数字）を選択します。

7. ［**OK**］をクリックして、プロパティ画面を閉じます。

8. プリンター設定画面を閉じて、設定を完了します。

メモ

接続やポート名の設定について詳しくは、Bluetooth 管理ソフトの取扱説明書をご覧ください。

Mac OS をお使いの場合

■ Bluetooth 設定

1. Mac OS X 10.4.11:
メニューバーの ∦ (Bluetooth) メニューから、［**Bluetooth デバイスを設定 ...**］を選択します。
［**Bluetooth 設定アシスタント**］画面が表示されます。手順 ❷ へ進みます。
Mac OS X 10.5.x:
メニューバーの ∦ (Bluetooth) メニューから、［デバイスをブラウズ ...］を選択します。［ファイルをブラウズ］画面が表示されます。手順 ❽ へ進みます。
Mac OS X 10.6:
メニューバーの ∦ (Bluetooth) メニューから、［**Bluetooth デバイスを設定 ...**］を選択します。
［**Bluetooth 設定アシスタント**］画面が表示されます。手順 ❾ へ進みます。

2. Mac OS X 10.4.11:
［はじめに］画面で［続ける］をクリックします。

3. Mac OS X 10.4.11:
［デバイスの種類を選択］画面で［任意のデバイス］を選択して、［続ける］をクリックします。

4. Mac OS X 10.4.11:
［**Bluetooth デバイス設定**］画面で［パスキーオプション ...］をクリックし、［特定のパスキーを使う］を選択して、［**OK**］をクリックします。

メモ

本機に設定されているパスキー（PIN コード）の初期値はシリアルナンバーの下 4 桁です。

5. Mac OS X 10.4.11:
［**Bluetooth デバイス設定**］画面でリストから適切なプリンターを選択して、［続ける］をクリックします。

6. Mac OS X 10.4.11:
［**Bluetooth デバイス設定**］画面で［続ける］をクリックして、［パスキー］にパスキー（PIN コード）を入力したあと、［続ける］をクリックします。

7. Mac OS X 10.4.11:
［続ける］をクリックし、［設定結果］画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

メモ

画面に［お使いのデバイスでサポートされているサービスが見つかりませんでした。］と表示されたら、［続ける］をクリックして、続けてください。

8. Mac OS X 10.5.x:
対象のプリンターを選択して、［このデバイスを記憶］のチェックボックスにチェックを入ます。

メモ

本機に設定されているパスキー（PIN コード）の初期値はシリアルナンバーの下 4 桁です。

9. Mac OS X 10.6:
リストから適切なプリンターを選択して、［続ける］をクリックします。

10. Mac OS X 10.6:
［パスコードオプション ...］をクリックします。

11. Mac OS X 10.6:
［特定のパスコードを使う］を選択して、パスキー（PIN コード）を入力し、［**OK**］をクリックします。
［続ける］をクリックします。

メモ

本機に設定されているパスキー（PIN コード）の初期値はシリアルナンバーの下 4 桁です。

⑫ Mac OS X 10.6:
［設定結果］画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

■ シリアルポート設定

① ［システム環境設定 ...］を開いて、［**Bluetooth**］をクリックします。

② Mac OS X 10.4.11:
［シリアルポートを編集 ...］をクリックします。
Mac OS X 10.5.x ～ 10.6:
メニューから［シリアルポートを編集 ...］を選択します。

③ ［ポートの種類］（10.4.11）/［プロトコル］（10.5.x ～ 10.6）は、プルダウンメニューから［**RS-232**］を、［デバイスのサービス］（10.4.11）/［サービス］（10.5.x ～ 10.6）は、プルダウンメニューから［**SPP Printing**］を選択し、［**適用**］をクリックします。

■ Bluetooth プリンターの追加

① Bluetooth ユーティリティを起動するには、［**Macintosh HD**］-［**ライブラリ**］-［**Printers**］-［**Brother**］-［**PocketJet Utilities**］-［**Bluetooth Printer Setup.app**］の順にダブルクリックします。

② ［プリンタ名］は、「シリアルポート設定」（15 ページ）の手順 ❸ で設定したポート名を選択します。［ドライバ］で、プリンタードライバーをプルダウンメニューから選択して、［追加］をクリックします。
Mac OS X 10.4.11:
Mac OS X がインストールされているドライブをダブルクリックし、［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］の順にダブルクリックします。［プリンタリスト］画面が表示されます。Bluetooth プリンターが追加され、Bluetooth 接続が使用できます。

Mac OS X 10.5.x ～ 10.6:
［システム環境設定 ...］の［プリンタとファクス］に Bluetooth プリンターが追加され、Bluetooth 接続が使用できます。

メモ

設定中に、本機とコンピューターまたは Bluetooth アダプターにパスキー（PIN コード）の登録（ペアリング）が必要になる場合があります。本機に設定されているパスキー（PIN コード）の初期値はシリアルナンバーの下 4 桁です。パスキー（PIN コード）を変更する場合は、PJ-600 シリーズ　ユーティリティで行ってください。詳しくは、「Bluetooth 設定（PJ-663 のみ）」（38 ページ）をご覧ください。

IrDA 接続と Bluetooth 接続の切換え

本機との接続方法（IrDA 接続または Bluetooth 接続）を変更するときは、本機の設定を接続方法に合わせて切換える必要があります。

本機の設定を切換える方法は、次の 2 通りです。

PJ-600 シリーズ　ユーティリティで変更する場合

PJ-600 シリーズ　ユーティリティを使用して、［**BT/IrDA 切替**］でご希望の接続を選択します。詳しくは、「BT/IrDA 切替（PJ-663 のみ）」（36 ページ）をご覧ください。

本機の操作で変更する場合

1. PJ-600 シリーズ　ユーティリティで［**BT/IrDA 本体切替ボタン操作**］を［**有効**］に設定してください（初期設定では［有効］です）。詳しくは、「BT/IrDA 本体切替ボタン操作（PJ-663 のみ）」（36 ページ）をご覧ください。

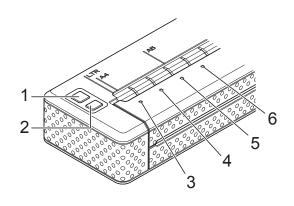
2. 本機の電源を切った状態で、（フィード）ボタンを押しながら、（電源）ボタンを 3 秒以上押します。Bluetooth 表示ランプが点灯（Bluetooth 接続可能）または消灯（Bluetooth 非接続）するのを確認します。

メモ

- IrDA 接続は携帯端末との接続用です。
- 携帯端末と IrDA/Bluetooth 接続を行う場合には、お使いの端末の取扱説明書をご覧ください。

2 本機を使用する

操作パネル

操作パネルには⏻(電源) ボタン、⇡(フィード) ボタンと複数の表示ランプがあります。

1 ⏻(電源) ボタン
2 ⇡(フィード) ボタン
3 **POWER** 表示ランプ
4 **DATA** 表示ランプ
5 **STATUS** 表示ランプ
6 (**Bluetooth**) 表示ランプ (**PJ-663** のみ)

電源ボタンとフィードボタンの機能

⏻(電源) ボタンの機能	操作
電源を入れる	本機の電源が切れている状態で、POWER 表示ランプが点灯するまで⏻(電源) ボタンを約 1 秒間押します。
電源を切る	⏻(電源) ボタンをすばやく 2 回押します。(PJ-600 シリーズ ユーティリティで、自動電源オフ機能が設定されている場合は、設定された時間を経過すると自動的に電源が切れます。)
ニッケル水素充電池を充電する	本機の電源が切れた状態で、POWER 表示ランプが緑色とオレンジ色に点滅し始めるまで、⏻(電源) ボタンを 2 秒以上押します。POWER 表示ランプは、充電が完了するまで点滅し続けます。ニッケル水素充電池の充電方法について詳しくは、「ニッケル水素充電池を充電する」 (3 ページ) をご覧ください。 ニッケル水素充電池は、PJ-600 シリーズ ユーティリティの「Ni-MH 充電池自動リフレッシュ」の設定によっては、リフレッシュを行わずに充電を開始する場合があります。設定について詳しくは、「Ni-MH 充電池自動リフレッシュ」 (33 ページ) をご覧ください。
ニッケル水素充電池のリフレッシュを行わずに充電する	ニッケル水素充電池のリフレッシュ中に、⏻(電源) ボタンを長く押すと、リフレッシュを中断して、充電を開始します。
ニッケル水素充電池の充電中に電源を切る	⏻(電源) ボタンを 2 回すばやく押します。

メモ

リチウムイオン充電池は、これらのボタン機能で操作することはできません。

↑🗋（フィード）ボタンの機能	操作
手動紙送り（手動用紙排出）をする	本機の電源が入った状態で、用紙がセットされていることを確認し、↑🗋（フィード）ボタンを押してください。ボタンが押されている間は、用紙が低速で送られます。 約 13 ミリ用紙送りをしても、↑🗋（フィード）ボタンを押し続けると、用紙が高速で送られます。用紙が送られる量は、［**用紙排出モード**］の設定によって異なります。詳しくは、「用紙排出モード」（21、35 ページ）をご覧ください。 本機が受信したデータを確実に印刷するため、データ受信後、約 5 秒間は手動で紙送りができません。
メンテナンスモードにする	本機の電源を切った状態で、用紙がセットされていないことを確認し、DATA 表示ランプが赤色に点灯するまで、↑🗋（フィード）ボタンを 2 秒以上押してください。 メンテナンスモードは通常は使用しません。元に戻すには、電源ボタンを短く 2 回押して電源を切ってください。

表示ランプについて

POWER　DATA　STATUS

各表示ランプは緑色、赤色、オレンジ色、または青色で点灯したり、点滅して、本機の状態を示します。詳しくは、「表示ランプ」（43 ページ）をご覧ください。

印刷について

本機は Windows® や Mac OS のオペレーションシステムに対応しています。

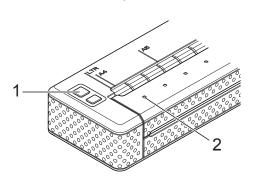
通常、本機はコンピューターとの通信時にドライバーソフトウェアを必要とします。ドライバーソフトウェアはセットアップ CD-ROM を使用してインストールすることができます。

最新のソフトウェアのご案内

各ソフトウェアは、最新版をご使用になることをお勧めします。各ソフトウェアの最新版はブラザーソリューションセンターのウェブサイト（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードすることができます。

印刷する

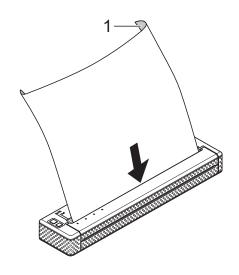
通常の印刷をする場合は、次の手順にしたがってください。

1. 印刷したいデータをコンピューター上に用意してください。
2. 本機の電源を確認します。
(充電された充電池を装着するか、または、アダプターを通じて給電されていることを確認ください。)
3. ⏻（電源）ボタンを押して、本機の電源を入れてください。POWER 表示ランプが点灯します。

1 ⏻（電源）ボタン

2 POWER 表示ランプ

4. USB 接続、IrDA 接続（対応コンピューターは Windows® のみ）または、Bluetooth 接続（対応プリンターは PJ-663 のみ）で本機とコンピューターを接続します。
5. 用紙をセットします。両手で用紙を持ち、本機のローラーに用紙が巻き込まれるまで、用紙挿入口にまっすぐに用紙を挿入します。弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

メモ

- 用紙を挿入するときは、挿入口に対して用紙の下側が平行になるように挿入してください。
- 用紙の印刷できる面は片方のみです。用紙を確認して、本機正面から見て印刷できる面を下向きにしてセットしてください。詳しくは、「用紙について」（24 ページ）をご覧ください。

1　印刷面

6 必要に応じて、プリンタードライバー（「プリンタードライバーの設定」（21 ページ））や PJ-600 シリーズユーティリティ（「PJ-600 シリーズユーティリティ」（26 ページ））で印刷設定を変更してください。

7 コンピューターのアプリケーションメニューから［印刷］をクリックします。

本機がデータを受信すると、DATA 表示ランプが緑色に点滅し、印刷を開始します。

メモ

- 用紙がセットされている状態で、DATA 表示ランプが点滅ではなく、点灯している場合は、印刷するために必要なすべてのデータを受信できなかった可能性があります。(フィード）ボタンを押し続けて、用紙を取り出してください。
- 印刷データを送ってから用紙をセットすることもできます。ただし、慣れるまでは、印刷を始める前に、用紙をセットすることをお勧めします。本機に用紙をセットするとき、曲がったり、歪んだ場合は、排紙カバーを一旦開けて、用紙を取り除き、排紙カバーを閉じてください。もう一度、用紙をセットしなおしてください。詳しくは、「紙がつまったときは」（25 ページ）をご覧ください。
- プリンタードライバーを使用しないで JPEG 印刷を行う場合は、「JPEG 印刷について」（40 ページ）をご覧ください。

印刷濃度の設定について

印刷濃度の設定はプリンタードライバー設定画面（「プリンタードライバーの設定」（21 ページ））または、PJ-600 シリーズユーティリティ（「印字濃度」（35 ページ））で調節することができます。

充電池を使用して印刷を行う場合は、印刷濃度設定によっては、印刷速度や 1 回の充電で印刷できる最大ページ数に影響を与える場合があります。

プリンタードライバーの設定

コンピューターのアプリケーションから印刷するとき、プリンタードライバーで印刷に関する様々な設定を変更することができます。

用紙種類

設定項目：[カット紙]、[ロール紙]、[ミシン目ロール紙]、[ミシン目入りロール紙／頭出し]

初期設定：[カット紙]

本機にセットした用紙種類を設定してください。

Mac OS をお使いの場合は、「用紙種類の選択」（23 ページ）をご覧ください。

濃度

設定項目：[**0**] ～ [**10**]

初期設定：[**6**]

印刷濃度を設定します。印刷された文書の明暗に影響します。低い値は薄く、高い数値は濃く印刷されます。

印刷濃度を濃く設定すると、充電池の消耗が早くなりますが、はっきりと印刷されるため、見やすい印刷物となります。充電池の消耗を節約したい場合は、低い値を設定してください。

メディア

設定項目：[**感熱紙**]、[**感熱複写紙**]

初期設定：[**感熱紙**]

複写式の用紙をセットした場合は、この設定を使用してください。[**感熱複写紙**] を選択した場合は、[**濃度**] を 10 にセットした場合よりも、濃く（そしてゆっくり）印刷します。

用紙排出モード

設定項目：[フィードなし]、[**用紙固定**]、[**用紙終端**]、[**用紙終端／頭出し**]

初期設定：[**用紙固定**]

印刷終了後に、どのように用紙を排出させるかを設定します。

- **フィードなし**-印刷が終了しても用紙送りをしません。文書が終わっても用紙送りされないので、ミシン目のないロール紙を使用するときに設定すると、続けて印刷が可能です。
- **用紙固定**-印刷が終了すると選択された用紙サイズ（レター、リーガル、A4 またはユーザー設定サイズ）に合わせて、用紙送りをします。カット紙を使用するときに設定してください。
- **用紙終端**-印刷が終了すると用紙を全て排出するまで、または最大で 355.6mm（14 インチ）まで用紙送りをします。ミシン目ロール紙を使用するときに設定してください。
- **用紙終端／頭出し** - 印刷が完了すると、あらかじめ用紙に印刷されているエンドマークまたは用紙の終端をセンサーが感知するまで用紙送りをします。[**用紙種類**] が [**ミシン目入りロール紙／頭出し**] の場合に設定してください。

紙送り量（フィードなし時）

設定項目：[なし]、[**1/2 インチ（12.7 mm）**]、[**1 インチ（25.4 mm）**]、[**1-1/2 インチ（38.1 mm）**]、[**2 インチ（50.8 mm）**]

初期設定：[**1 インチ（25.4 mm）**]

[**用紙排出モード**] を [フィードなし] に設定した場合に使用します。文書の最後のページを印刷したあとで、この設定値分を用紙送りします。

メモ

この設定は、文書の最後のページにのみ適用されます。コンピューターのアプリケーションによって設定された下余白は適用されません。上余白は、複数ページの文書のページ間で、全体の上余白と下余白が決定されます。

ロール紙カットモード (Windows® のみ)

設定項目：[無効]、[有効]

初期設定：[無効]

[有効] に設定すると、ロール紙に印刷するときに、印刷するページごとに用紙確認のダイアログを表示します。

ミシン目印字

設定項目：[無効]、[有効]

初期設定：[無効]

ロール紙を使用する場合に、ページとページの間にミシン目調の横仕切り線を印刷することができます。[**用紙排出モード**] を [**用紙固定**] に設定してから、[**有効**] にします。この機能は、用紙にミシン目調の横仕切り線を印刷するもので、ミシン目をあけることはできません。

コマンドモード自動切換え (Windows® のみ)

設定項目：[無効]、[有効]

初期設定：[有効]

本機を使用中に、コマンドの種類が変更されたとき、自動的にその使用コマンドに切換えて対応するかどうかを設定します。

用紙サイズの設定

あらかじめ用意されている用紙サイズ（レター、リーガル、A4 など）を使用する場合は、用紙設定ダイアログの用紙サイズから選択してください。

ご希望の用紙サイズがない場合は、次の手順で用紙サイズを設定して追加することができます。

Windows® をお使いの場合

■ Windows® XP

1. [**コントロールパネル**] - [**プリンタとその他のハードウェア**] - [**プリンタと FAX**] をクリックします。
2. 何も選択していない状態で、[**プリンタと FAX**] 画面内で右クリックして、[**サーバーのプロパティ**] を選択します。[**サーバーのプロパティ**] 画面が表示されます。
3. [**用紙**] タブをクリックして、ご希望の用紙サイズなどを設定し、用紙サイズを追加してください。

■ Windows Vista®

1. [**コントロールパネル**] - [**ハードウェアとサウンド**] - [**プリンタ**] をクリックします。
2. 何も選択していない状態で、[**プリンタ**] 画面内で右クリックして、[**管理者として実行 ...**] - [**サーバーのプロパティ**] を選択します。
   権限確認画面が表示されたら、[**続行**] をクリックします。[**ユーザーアカウント制御**] 画面が表示されたら、パスワードを入力して [**OK**] をクリックします。
3. [**用紙**] タブをクリックして、ご希望の用紙サイズなどを設定し、用紙サイズを追加してください。

■ Windows® 7

1. スタートボタンから［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. ［**Brother PJ-XXX**］を選択して、［プリントサーバープロパティ］をクリックします。
3. ［**用紙**］タブをクリックして、［**用紙設定の変更**］をクリックします。［**ユーザーアカウント制御**］画面が表示されたら、パスワードを入力して［**はい**］をクリックします。
4. ご希望の用紙サイズなどを設定し、用紙サイズを追加してください。

Mac OS をお使いの場合

1. ［**用紙設定**］画面を開いて、［**用紙サイズ**］-［**カスタムサイズを管理 ...**］を選択します。カスタムページサイズ画面が表示されます。
2. ご希望の用紙サイズなどを設定し、用紙サイズを追加してください。

用紙種類の選択

用紙サイズは、［カット紙］、［ロール紙］、［ミシン目ロール紙］、［ミシン目入りロール紙／頭出し］から選択します。

カット紙

カット紙を使用する場合は、プリンタードライバーを次のように設定します。

1. ご希望の用紙サイズ（レター、A4、リーガル）を選択します。
2. Windows® をお使いの場合のみ、［**用紙種類**］を［**カット紙**］に設定します。
3. ［**用紙排出モード**］を［**用紙固定**］に設定します。

ロール紙（ミシン目なし）

ミシン目なしのロール紙を使用する場合は、ご希望の用紙の長さによってプリンタードライバーを次のように設定します。

お好みの用紙サイズで使用する（用紙節約）

ロール紙をお好みの用紙サイズで使用する場合に設定します。この場合は、選ばれた用紙サイズでページごとの最大行数が決まります。

1. ご希望の用紙サイズを選択します。
   Windows®：レター、A4、リーガル
   Mac OS：レター（ロール紙）、A4（ロール紙）、リーガル（ロール紙）
2. Windows® をお使いの場合のみ、［**用紙種類**］を［**ロール紙**］に設定します。
3. ［**用紙排出モード**］を［**フィードなし**］に設定します。
4. ［**紙送り量（フィードなし時）**］でご希望の数値を設定します。文書の最後のページを印刷したあとで、この設定値分を用紙送りします。

用紙を切らずに使用する

1. 用紙サイズを［**Infinite**］に設定します。
2. Windows® をお使いの場合のみ、［**用紙種類**］を［**ロール紙**］に設定します。
3. ［**用紙排出モード**］を［**フィードなし**］に設定します。
4. ［**紙送り量（フィードなし時）**］でご希望の数値を設定します。文書の最後のページを印刷したあとで、この設定値分を用紙送りします。
5. アプリケーションの設定で、上余白と下余白を 0（ゼロ）に設定します。

ミシン目入りロール紙

ミシン目ロール紙を使用する場合は、プリンタードライバーを次のように設定します。

1. ご希望の用紙サイズを選択します。
   Windows® : レター、A4、リーガル
   Mac OS : レター（ミシン目入りロール紙）、A4（ミシン目入りロール紙）、リーガル（ミシン目入りロール紙）
2. Windows® をお使いの場合のみ、［**用紙種類**］を［**ミシン目ロール紙**］または［**ミシン目入りロール紙／頭出し**］に設定します。
3. ［**用紙排出モード**］を［**用紙終端**］または「**用紙終端／頭出し**］に設定します。
   ［**ミシン目ロール紙**］を選択した場合は、ページ間で頭出し（用紙送り）をしません。どの用紙サイズ（カスタムサイズを含む）でも印刷領域はカット紙の場合より狭くなります。
   ［**ミシン目入りロール紙／頭出し**］を選択した場合は、ページ間で頭出し（用紙送り）をします。印刷領域はカット紙の場合と同じです。

用紙について

弊社純正の感熱紙を使う

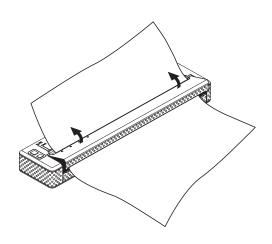
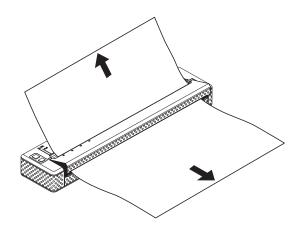
感熱紙は、トナー、リボンまたはインクなどを使用することなく、印刷することが可能です。弊社純正の感熱紙は、PocketJet 用で、本機との適用性に優れています。弊社純正の感熱紙をご使用になることをお勧めします。
純正品以外のご使用は、印字品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。
（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）

用紙の使用と取扱いについて

- 用紙の印刷できる面は片方のみです。用紙を確認して、本機正面から見て印刷できる面を下向きにしてセットしてください。
- 用紙にしわや破れができないように、ご使用になるまで箱などに入れて保管してください。
- 折りたたんだり、折り目をつけたり、しわになった用紙は使用しないでください。
- 用紙は、高温多湿を避けて保管してください。
- 用紙は、直射日光のあたる場所へ長時間放置しないでください。
- ジアゾ（青焼き）、カーボンレス、キャストコート用紙と密着させないでください。
- ビニールやアセテート素材（例えばノートやレポート用紙カバーなど）と密着させないでください。
- 有機溶剤、油、アンモニアと密着させないでください。
- 筆記具で書き込む場合は、必ず水性の筆記具をご使用ください。油性のものを使用すると、用紙が変色することがあります。

紙がつまったときは

紙がつまったときは、次の手順で紙を取り除いてください。

1. 排紙カバーを開けます。

2. 取り出しやすい方向に、静かに用紙をひっぱり、本機から抜きます。

3. 排紙カバーを閉めます。

4. 新しい用紙をセットして、もう一度、印刷します。

ロール紙をカットするには

ロール紙は、本機のティアバーを使用して切り取ることができます。排出された用紙の片側を持って、反対側へ斜め上に引っ張ります。

	ティアバーには直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

3 PJ-600 シリーズ　ユーティリティ

概要

PJ-600 シリーズ　ユーティリティは、プリンターの初期設定値を変更することができるプログラムです。

コンピューターのアプリケーションを使用して文書を印刷する場合は、プリンタードライバー画面で印刷設定を行ってから、データをプリンターに送信して印刷します。プリンタードライバーの設定について詳しくは、「プリンタードライバーの設定」(21 ページ) をご覧ください。
PJ-600 シリーズ　ユーティリティは、プリンタードライバー画面で設定する印刷設定より、さらに詳細な設定を行う場合に使用します。

通常は PJ-600 シリーズ　ユーティリティの設定を変更する必要はありません。コンピューターにプリンタードライバーをインストールしないで、簡単なテキストデータなどを印刷する場合に使用します。

	PJ-600 シリーズ　ユーティリティの設定はプリンターが待機状態のときに行ってください。プリンター動作中に設定を行うと誤動作の原因となります。

PJ-600 シリーズ　ユーティリティのインストール

Windows® をお使いの場合

1. CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. ［**PC**（**Windows**）用ソフトウェア］をクリックして、［**PJ-600** シリーズ ユーティリティ］をクリックします。

［**PC**（**Windows**）用ソフトウェア］-［標準インストール］を選択すると、他のソフトウェアと同時に PJ-600 シリーズ　ユーティリティもインストールされます。詳しくは、「プリンタードライバーのインストールとアンインストール」（10 ページ）をご覧ください。

Mac OS をお使いの場合

プリンタードライバーをインストールすると自動的に PJ-600 シリーズ　ユーティリティもインストールされます。詳しくは、「プリンタードライバーのインストールとアンインストール」（10 ページ）をご覧ください。

［**Macintosh HD**］-［ライブラリ］-［**Printers**］-［**Brother**］-［**PocketJet Utilities**］-［**Brother PJ-600** シリーズ ユーティリティ **.app**］にインストールされます。

PJ-600 シリーズ　ユーティリティのアンインストール

Windows® をお使いの場合

1. Windows® XP:
［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］をクリックします。［プログラムの追加と削除］画面が表示されます。
Windows Vista® / Windows® 7:
スタートボタンから［コントロールパネル］-［プログラム］-［プログラムと機能］をクリックします。［プログラムのアンインストールと変更］画面が表示されます。

2. Windows® XP:
［**Brother PJ-600** シリーズユーティリティ］を選択し、［**削除**］をクリックします。
Windows Vista® / Windows® 7:
［**Brother PJ-600** シリーズユーティリティ］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

3. ［はい］をクリックします。
［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたら、［許可］をクリックします。パスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを入力し、［はい］をクリックします。アンインストールが開始されます。

4. ［プログラムの追加と削除］（Windows® XP）／［プログラムのアンインストールと変更］（Windows Vista® / Windows® 7）画面を閉じます。
PJ-600 シリーズ　ユーティリティのアンインストールが完了しました。

メモ

PJ-600 シリーズ ユーティリティをアンインストールしても、プリンタードライバーや P-touch Editor はアンインストールされません。それぞれ個別にアンインストールしてください。

Mac OS をお使いの場合

PJ-600 シリーズ　ユーティリティを削除するには、下記の場所にある［**Brother PJ-600** シリーズ　ユーティリティ **.app**］を手動で削除してください。

［**Macintosh HD**］-［ライブラリ］-［**Printers**］-［**Brother**］-［**PocketJet Utilities**］-［**Brother PJ-600** シリーズユーティリティ **.app**］。

PJ-600 シリーズ　ユーティリティを使用する

PJ-600 シリーズ　ユーティリティをお使いになる前に

- プリンターを電源コンセントに接続するか、充電池が十分に充電されていることを確認してください。
- プリンタードライバーがインストールされていて、使用できる状態であることを確認してください。
- プリンターをUSB接続またはBluetooth接続（PJ-663 のみ）でコンピューターと接続してください。
（PJ-600 シリーズ　ユーティリティを Macintosh でお使いになる場合は、USB 接続のみに対応しています。）

PJ-600 シリーズ　ユーティリティを起動する

メモ

PJ-600 シリーズ　ユーティリティは、Windows® 版と Macintosh 版では、同じ機能を持っていますが、設定画面表示などが異なります。ここでは Windows® 版の画面を使用して説明しています。

Windows® をお使いの場合

PJ-600 シリーズ　ユーティリティを起動するには、スタートボタンから［すべてのプログラム］-［**Brother PocketJet**］-［**Brother PJ-600** シリーズユーティリティ］の順にクリックします。

Mac OS をお使いの場合

PJ-600 シリーズ　ユーティリティを起動するには、［**Macintosh HD**］-［ライブラリ］-［**Printers**］-［**Brother**］-［**PocketJet Utilities**］-［**Brother PJ-600** シリーズ　ユーティリティ **.app**］の順にダブルクリックします。

メイン画面（下図）が開き、プリンターの設定値が表示されます。

PJ-600 シリーズ　ユーティリティの使いかた

1. PJ-600 シリーズ　ユーティリティのメイン画面で、設定したい項目のチェックボックスにチェックを入れます。
2. プルダウンリストからご希望の設定を選択、または数値を入力します。
3. ［設定を送信する］をクリックして、プリンターに設定を送信します。

メモ

いくつかの項目は、プリンタードライバー設定画面と PJ-600 シリーズ　ユーティリティのどちらでも設定することができます。次の項目は、プリンタードライバー設定画面での設定が優先されます。

[用紙サイズ]
[濃度]（[印字濃度]）
[用紙排出モード]
[ミシン目印字]

プリンタードライバーで設定した内容は、その後の印刷に適用されます。プリンターの電源を切るまで、設定は記憶されます。

電源を切り、もう一度、プリンターの電源を入れると、PJ-600 シリーズ　ユーティリティでの設定値に戻ります。

設定項目

メモ

- 通常は PJ-600 シリーズ　ユーティリティの設定を変更する必要はありません。コンピューターにプリンタードライバーをインストールしないで、簡単なテキストデータなどを印刷する場合に使用します。
- 設定項目（自動電源オン、自動電源オフ、プレフィードを含む）は、全ての OS に共通です。

設定項目の変更

1 プリンター

コンピューターに接続しているプリンターのリストを表示します。PJ-600 シリーズ　ユーティリティを使用する場合は、設定を変更したいプリンターをこのリストから選択します。

2 リストを更新（**Windows®** のみ）

このボタンをクリックすると、プリンターリストが更新されます。PJ-600 シリーズ　ユーティリティを起動したあとでプリンターを追加したり、電源を入れた場合は、このボタンをクリックします。追加したプリンターが［プリンター］に表示され、選択することができます。

3 インポート

エクスポート機能を使用して作成された構成ファイルを取り込みます。

インポート機能を使用して、構成ファイルをプリンターに送信した後、［**設定を送信する**］をクリックします。

4 エクスポート

現在の設定を構成ファイルとして保存します。

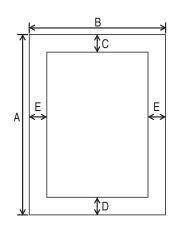
PJ-663 のみ：PIN コード（パスキー）、Bluetooth アドレスなどの Bluetooth 情報は構成ファイルとして保存されません。

用紙サイズの設定

1 用紙サイズ

設定項目：[レター]、[**A4**]、[リーガル]、[カスタム]

初期設定：[レター]

この項目は、初期用紙サイズを設定します。標準的な用紙サイズの場合は、以下に示すように余白が設定されており、印刷領域も決められています。

（数値は mm （インチ））

用紙サイズ	A	B	C	D	E
レター	279 (11)	216 (8-1/2)	2.5 (0.10)	5.8 (0.23)	4.3 (0.17)
A4	297 (11.69)	210 (8.27)	2.5 (0.10)	15 (0.59)	3.3 (0.13)
リーガル	356 (14)	216 (8-1/2)	2.5 (0.10)	5.8 (0.23)	4.3 (0.17)

[カスタム] を選択した場合は、次の項目でページの仕様を設定します。

[行単位ページ長]
[下余白設定]
[左余白設定]
[右余白設定]

メモ

この設定をプリンタードライバーで変更すると、その設定値が優先されます。

2 行単位ページ長

[改行量] の設定値によって、設定できる数値が変更します。

設定項目	行	インチ
[6 行 / インチ]	6-127	1.00-21.16
[8 行 / インチ　(0.125")] または [8 行 / インチ (0.12")]	8-127	1.00-15.87

初期設定：[行] (6)

[用紙サイズ] を [カスタム] に設定している場合のみ設定が可能です。

用紙の長さは、行数またはインチで決まります。

- **行** - ページの長さ (すなわちページの高さ) は、ここで指定する 1 ページの行数と各行間の高さ ([改行量] の設定) で決まります。
- **インチ** - ページの長さはインチで決まります。

設定 ([行]、[インチ]) を変更すると、PJ-600 シリーズ　ユーティリティは、各数値を自動的に再計算します。

3　下余白設定

［改行量］の設定値によって、設定できる数値が変更します。

設定項目	行
［6 行 / インチ］	3-126
［8 行 / インチ （0.125"）］または［8 行 / インチ（0.12"）］	4-126

初期設定：［行］（3）

［用紙サイズ］を［カスタム］に設定している場合のみ設定が可能です。

下余白は、テキストの行数で表示されます。たとえば、［下余白設定］を 6 行に設定し、［改行量］を 6 行 / インチに設定した場合、実際の下余白の高さは 1 インチ（25.4 mm）になります。

下余白の最小値は 0.5 インチ（12.7 mm）です。
たとえば、［改行量］を 6 行 / インチに設定した場合は、［下余白設定］は少なくとも 3 行に設定してください。

設定できる最大行数は、［行単位ページ長］で設定された行数よりマイナス 1 行までです。

4　改行量

設定項目：［**6 行 / インチ**］、［**8 行 / インチ（0.125"）**］、［**8 行 / インチ（0.12"）**］

初期設定：［**6 行 / インチ**］

各行間の高さを設定します。
グラフィック文字を印刷するために［**拡張文字**］を［**拡張グラフィック**］に設定した場合は、グラフィック文字高さが 0.12 インチ（3.1mm）なので、［**8 行 / インチ（0.12"）**］に設定することをお勧めします。

5　左余白設定

設定項目：［**用紙の設定**］、［**列**］（列数を指定）

初期設定：［**用紙の設定**］

- **用紙の設定** - 用紙サイズによってあらかじめ設定されている余白値（印刷可能幅の 8 インチ（203.2 mm）が規定されている）を使用します。
- **列** - 左余白は設定される列数の幅によって増やされた列数（ここで設定した）と等しいです。各列幅は、［**文字ピッチ**］によって決まります。たとえば、［**左余白設定**］を 12 に設定して、［**文字ピッチ**］を［**12 文字 / インチ**］に設定した場合、実際の左余白は 1 インチ（25.4 mm）になります。［**文字ピッチ**］を［**プロポーショナル**］に設定した場合は、10 文字 / インチで計算されます。

左余白の最大幅は、4.5 インチ（114.3 mm）です。

6　右余白設定

設定項目：［**用紙の設定**］、［**列**］（列数を指定）

初期設定：［**用紙の設定**］

- **用紙の設定** - 用紙サイズによってあらかじめ設定されている余白値（印刷可能幅の 8 インチ（203.2 mm）が規定されている）を使用します。
- **列** - 右余白は設定される列数の幅によって増やされた列数（ここで設定した）と等しいです。各列幅は、［**文字ピッチ**］によって決まります。たとえば、［**右余白設定**］を 12 に設定して、［**文字ピッチ**］を［**12 文字 / インチ**］に設定した場合、実際の左余白は 1 インチ（25.4 mm）になります。［**文字ピッチ**］を［**プロポーショナル**］に設定した場合は、10 文字 / インチで計算されます。

右余白の最大幅は、印刷できる可能幅（左右余白を除いた幅）の 0.2 インチ（5.08 mm）に設定されます。

7　文字ピッチ

設定項目：［**10 文字 / インチ**］、［**12 文字 / インチ**］、［**15 文字 / インチ**］、［**プロポーショナル**］

初期設定：［**12 文字 / インチ**］

この項目は、文字ピッチを設定します。10、12 または 15 文字 / インチのどれを選択しても、文字幅は変わりません。たとえば、「w」と「i」は、同じ幅になります。［**プロポーショナル**］を設定した場合は、文字幅は文字によって異なります。たとえば、「w」は、「i」より横幅が広くなります。［**文字ピッチ**］の設定は、左右の余白幅に影響します。

電源とロール紙選択の設定

1　自動電源オン

設定項目：［無効］、［有効］、［有効（電源ボタンオフ禁止）］

初期設定：［無効］

この項目は、プリンターを電源コンセントに接続しているとき、プリンターがどのように対応するかを設定します。

- **無効** - プリンターは、最小電力を使用するスリープモードに入ります。スリープモードを解除してプリンターの電源を入れるには、⏻（電源）ボタンを押します。
- **有効** - 電源コンセントに接続すると、プリンターの電源が自動的に入ります。これは ⏻（電源）ボタンを押しにくい状況の場合に使用します。
- **有効（電源ボタンオフ禁止）** - 電源コンセントに接続すると、プリンターの電源が自動的に入ります。また、⏻（電源）ボタンを押しても、プリンターの電源を切ることはできません。これは、誤って⏻（電源）ボタンを押してしまい、プリンターの電源を切ってしまうことを防ぎます。プリンターの電源を切るには、電源コンセントからプリンターを抜いてください。

2　自動電源オフ（AC/DC/Li-ion）

設定項目：［なし］、［**10** 分］、［**20** 分］、［**30** 分］、［**40** 分］、［**50** 分］、［**60** 分］

初期設定：［なし］

この設定は、プリンターが AC 電源、DC 電源またはリチウムイオン充電池からの電源供給で使用している場合に、電気節約のため、プリンターの電源を自動的に切る時間を設定します。
設定した時間内にデータの受信がない場合、プリンターの電源を自動的に切ります。

3　自動電源オフ（Ni-MH）

設定項目：［なし］、［**10** 分］、［**20** 分］、［**30** 分］、［**40** 分］、［**50** 分］、［**60** 分］

初期設定：［**10** 分］

この設定は、プリンターがニッケル水素充電池からの電源供給のみで使用している場合に、電気節約のため、プリンターの電源を自動的に切る時間を設定します。

設定した時間内にデータの受信がない場合、プリンターの電源を自動的に切ります。

プリンターにニッケル水素充電池が装着された状態で AC 電源または DC 電源とも接続されている場合は、［**自動電源オフ（AC/DC/Li-ion）**］の設定が優先されます。

4　Ni-MH 充電池自動リフレッシュ

設定項目：［リフレッシュなし］、［毎回］、［**5** 回ごと］、［**10** 回ごと］

初期設定：［リフレッシュなし］

この設定は、ニッケル水素充電池を充電するときに、リフレッシュを行う頻度を設定します。例えば、［**5** 回ごと］に設定した場合は、充電を 5 回行うごとに 1 回リフレッシュを行います。

ニッケル水素充電池のリフレッシュと充電について詳しくは、「ニッケル水素充電池を充電する」（3 ページ）をご覧ください。

5　ミシン目スキップ

設定項目：［無効］、［有効］

初期設定：［無効］

この設定は、用紙サイズの境目を挟んで、下余白と上余白を合わせて、25.4 mm（1 インチ）にします。ミシン目入りロール紙に印刷するとき、ミシン目上に印刷されないように設定します。

6 ミシン目印刷

設定項目：[**無効**]、[**有効**]

初期設定：[**無効**]

ロール紙を使用する場合に、ページとページの間にミシン目調の横仕切り線を印刷することができます。[**用紙排出モード**] を [**用紙固定**] に設定してから、[**有効**] にします。この機能は、用紙にミシン目調の横仕切り線を印刷するもので、ミシン目をあけることはできません。

メモ

この設定をプリンタードライバーで変更すると、その設定値が優先されます。

印刷濃度とその他の設定

1　印字濃度

設定項目：［**0**］～［**10**］

初期設定：［**6**］

印刷濃度を設定します。印刷された文書の明暗に影響します。低い値は薄く、高い数値は濃く印刷されます。

印刷濃度を濃く設定すると、充電池の消耗が早くなりますが、はっきりと印刷されるため、見やすい印刷物となります。充電池の消耗を節約したい場合は、低い値を設定してください。

 メモ

この設定をプリンタードライバーで変更すると、その設定値が優先されます。

2　用紙排出モード

設定項目：［フィードなし］、［**用紙固定**］、［**用紙終端**］、［**用紙終端／頭出し**］

初期設定：［**用紙固定**］

印刷終了後に、用紙をどのように排出するかを設定します。プリンターが受信したどのようなデータに対しても、どのように用紙を排出させるかを設定します。

- フィードなし - 印刷が終了しても用紙送りをしません。文書が終わっても用紙送りされないので、ミシン目のないロール紙を使用するときに設定すると、続けて印刷が可能です。
- **用紙固定** - 印刷が終了すると選択された用紙サイズ（レター、リーガル、A4 またはユーザー設定サイズ）に合わせて、用紙送りをします。カット紙を使用するときに設定してください。
- **用紙終端** - 印刷が終了すると用紙を全て排出するまで、または最大で 355.6 mm（14 インチ）まで用紙送りをします。ミシン目ロール紙を使用するときに設定してください。
- **用紙終端／頭出し** - 印刷が完了すると、あらかじめ用紙に印刷されている用紙のエンドマークまたは用紙の終端をセンサーが感知するまで用紙送りをします。［**用紙種類**］が［ミシン目ロール紙／頭出し］の場合に設定してください。

メモ

この設定をプリンタードライバーで変更すると、その設定値が優先されます。

3　プレフィード

設定項目：［無効］、［有効］

初期設定：［無効］

［有効］を選択した場合は、プリンターの電源を入れると、短く用紙送りをします。ミシン目入りロール紙または、あらかじめ印刷されたロール紙を使用する場合は、［無効］に設定することをお勧めします。

4　改行コード動作設定

設定項目：［**LF=LF CR=CR**］、［**LF=CR+LF CR=CR+LF**］

初期設定：［**LF=LF CR=CR**］

この設定は、LF コマンドと CR コマンド（アスキー文字 10 と 13）を受信した場合のプリンターの対応を設定します。初期値では、LF（ラインフィード）は、印字ヘッドが次の行に進み、CR（キャリッジリターン）は、印字ヘッドが左余白へ戻ります。

デバイスからプリンターにデータを送信するとき、印字ヘッドを次の行（LF コマンド）の左余白（CR コマンド）へ移動させるために、行の終わりに LF コマンドと CR コマンドの両方を送信しますが、デバイスによっては、どちらか 1 つのコマンドしか送信しない場合があります。その場合でも、プリンターには、2 つのコマンドを受信したように対応させるために、お使いのデバイスが LF コマンドまたは CR コマンドのどちらか 1 つしか送信しない場合は、［**LF=CR+LF CR=CR+LF**］を選択してください。

5 紙センサー閾値

設定項目：数値を設定（0 ～ 255）

初期設定：［**128**］

紙センサーの閾値を設定します。

6 **BT/IrDA** 切替（**PJ-663** のみ）

設定項目：［**Bluetooth**］、［**IrDA**］

初期設定：［**Bluetooth**］

Bluetooth 接続と IrDA 接続のどちらを使用するか設定します。

7 **BT/IrDA** 本体切替ボタン操作（**PJ-663** のみ）

設定項目：［無効］、［有効］

初期設定：［有効］

Bluetooth 接続と IrDA 接続のどちらを使用するかの切り替えをプリンター本体のキー操作で可能にするかどうかを設定します。詳しくは、「IrDA 接続と Bluetooth 接続の切換え」（16 ページ）をご覧ください。

内蔵フォントの設定

1 拡張文字

設定項目：[イタリック]、[拡張グラフィック]、[カタカナ]

初期設定：[拡張グラフィック]

この設定は、アスキー文字 128 〜 255 を印刷するとき、どの文字を使用するか設定します。[イタリック] を選択した場合は、アスキー文字 32 〜 127 のイタリック版が使用されます。[拡張グラフィック] を選択した場合は、55 ページの表に示される文字が使用されます。

2 国際文字

設定項目：[**USA**]、[**France**]、[**Germany**]、[**United Kingdom**]、[**Denmark I**]、[**Sweden**]、[**Italy**]、[**Spain I**]、[**Japan**]、[**Norway**]、[**Denmark II**]、[**Spain II**]、[**Latin America**]、[**Korea**]、[**Legal**]

初期設定：[**USA**]

この項目は、使用する文字セットを設定します。適切な言語を選択すると、特殊文字を印刷することができます。詳しくは、57 ページの表をご覧ください。

3 既定のフォント

設定項目：[明朝]、[ゴシック]

初期設定：[明朝]

使用するフォントを設定します。英文は [明朝] を選んだ場合は「Roman」、[ゴシック] の場合は「Sans Serif」になります。

4 フォント縮小

設定項目：[無効]、[有効]

初期設定：[無効]

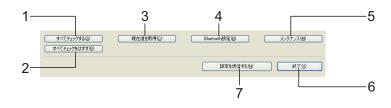
この設定は、文字を縮小して印刷するかどうかを設定します。[文字ピッチ] の設定によって、効果が異なります。各設定の効果は次のようになります。

文字ピッチ	縮小サイズ
10 文字 / インチ	16.67 文字 / インチ
12 文字 / インチ	20 文字 / インチ
プロポーショナル	文字幅を半分にする
15 文字 / インチ	変更無し

5 フォント属性

設定項目：[強調]、[倍角]、[下線]

この項目は、印刷するテキストの文字の属性を設定します。

PJ-600 シリーズ　ユーティリティメニュー

1　すべてチェックする

［すべてチェックする］をクリックすると、PJ-600 シリーズ　ユーティリティのチェックボックスのすべてにチェックが入ります。

2　すべてチェックをはずす

［すべてチェックをはずす］をクリックすると、PJ-600 シリーズ　ユーティリティのチェックボックスに入っているすべてのチェックが外れます。

3　現在値を取得

［現在値を取得］をクリックすると、［プリンター］で選択しているプリンターの設定情報を取得します。

4　Bluetooth 設定（PJ-663 のみ）

［**Bluetooth 設定**］をクリックすると、［**Bluetooth 設定**］ダイアログが表示され、プリンターに名前を設定したり、Bluetooth の PIN コード（パスキー）を変更したりすることができます。

■ **Bluetooth PIN コード**

Bluetooth の PIN コード（パスキー）を必要とするか、プリンターの Bluetooth PIN コード（パスキー）を変更するか、Bluetooth の通信を暗号化するか、を設定することができます。

［**Bluetooth PIN コード**］内のプルダウンメニューから［**有効**］を選択すると、プリンターと Bluetooth で通信するコンピューターにも PIN コードを設定する必要があります。必要に応じて、PIN コードを変更することもできます。

［**暗号化**］のチェックボックスにチェックを入れた場合は、Bluetooth 接続で、プリンターとコンピューターが PJ-600 シリーズ　ユーティリティを使ってデータを送信する場合に、その内容を暗号化して送信します。

■ **Bluetooth デバイス名**

プリンターに 30 文字（30 バイト）以内で名前を設定できます。複数の Bluetooth 対応プリンターが接続している場合、目的のプリンターを特定するのに便利です。

■ **他のデバイスからの検索**

他の Bluetooth 対応デバイスからの検索を許可するか設定します。

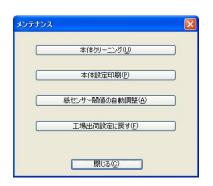
■ **Bluetooth アドレス**

Bluetooth アドレスの現在値を表示します。

メモ

PIN コードとデバイス名には、英数字のみを使用してください（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）。デバイス名にはスペースを使用できます。PIN コードではスペースは使用できません。

5　メンテナンス

［メンテナンス］をクリックすると、［メンテナンス］ダイアログが表示されます。

■ 本体クリーニング

「プラテンローラーのクリーニング」（41 ページ）をご覧ください。

■ 本体設定印刷

下図のようなプリンターのファームウェアのバージョン、画質、設定情報などのレポートを印刷するには、［**本体設定印刷**］をクリックします。

```
Brother PJ-XXX Firmware Version 1.00

Current Settings

PROGRAM VERSION               : PJ-Main   V1.00
BOOT VERSION                  : PJ-Boot   V1.00
FONT1 VERSION                 : PJ-Font-E V1.00
FONT2 VERSION                 : PJ-Font-P V1.00
EEPROM VERSION                : V1.000
AUTO POWER ON                 : Disabled
PAGE LENGTH                   : 66
1" PERF SKIP                  : Disabled
BOTTOM MARGIN LINES           : 2
PAGE SIZE                     : Letter
LINE FEED PITCH               : 1/6
FONT                          : Serif
PITCH SELECT                  : 12cpi
CONDENSED MODE PRINT          : Disabled
FONT ATTRIBUTE                : Disabled
CHARACTER TABLE               : Extended Graphics
INTERNATIONAL CHAR SET        : USA
AUTO LINE FEED                : Disabled
DENSITY LEVEL                 : 4
PAPER EJECT MODE              : Fixed Page Mode
BATTERY REFRESH INTERVAL      : Never Discharges Before Charging
SERIAL No.                    : G0G191928
DASH LINE BETWEEN PAGES       : Disabled
PRE-FEED ON POWER UP          : Enabled
AUTO POWER OFF(AC/DC/LI-ION)  : Disabled
AUTO POWER OFF(NI-MH)         : 10 Minutes
WIRELESS I/O                  : BT/USB
WIRELESS SWITCHING MODE       : Disabled
BD ADDRESS                    : 00:03:7A:52:86:44
BLUETOOTH LOCAL NAME          : PJ-6621928
PAGE COUNTER                  : 29
ROM FREE                      : 5898240 byte

Courier10 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
Courier12 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
Courier15 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
CourierProp ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
Sans Serif10 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789

END_OF_PAGE
```

このレポートは、（フィード）ボタンを使用して印刷することもできます。詳しくは、「本体設定の印刷」（47 ページ）をご覧ください。

■ 紙センサー閾値の自動調整

［**紙センサー閾値の自動調整**］をクリックして、画面の指示に従ってください。用紙検出センサーの補正が自動的に行われます。

■ 工場出荷設定に戻す

［**工場出荷設定に戻す**］をクリックすると、PJ-600 シリーズ　ユーティリティが初期設定になり、プリンターに送信されます。

6　終了

［**終了**］をクリックすると、PJ-600 シリーズ　ユーティリティを終了します。

7　設定を送信する

［**設定を送信する**］をクリックすると、コンピューターの構成ファイルに、PJ-600 シリーズ　ユーティリティでチェックを入れている設定を保存して、プリンターに送信します。次回、プリンターの電源を入れたときには、この設定が保存されています。

4 その他の機能

JPEG 印刷について

IrDA 接続（Windows® のみ）または Bluetooth 接続（PJ-663 のみ）の場合は、プリンタードライバーを使用しなくても画像データ（JPEG）を印刷することができます。

メモ

- IrDA 接続では、IrOBEX プロトコルを利用して通信を行い、印刷します。
- Bluetooth 接続では、ベイシックイメージプロファイル（BIP）を利用して通信を行い、印刷します。
- 本機は、カラー / モノクロの JPEG 画像を一旦ディザーリング処理を行いハーフトーンの画像にしてから、単純 2 値の印刷データを作ります。
- モノクロの JPEG 画像を送信した場合は、印刷される画像がディザーリング処理によって不明瞭になる場合があります。

- JPEG 画像のみ印刷することができます（ファイルの拡張子は jpg に限ります）。
- 印刷できるファイルサイズは最大 5MB までです。
- 印刷できる解像度は、最大で次の通りです。

  高さ x 幅 ＝ 3300 x 2400 ドット

  解像度の上限を超えた場合、本機は受信データを破棄し、印刷しません。
- 1 ピクセル＝ 1 ドットで印刷します。
- 本機では 2 値化処理を行って画像を印刷します（単純 2 値）。
- 用紙の左上から印刷を開始します。
- 縦横の比率は受信データのまま印刷します。

5 お手入れ

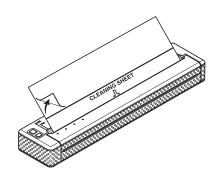
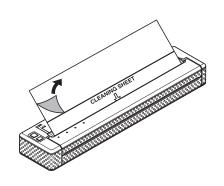
プラテンローラーのクリーニング

プラテンローラーが汚れると、用紙送りがうまくされなかったり、印刷画質を低下させることがあります。

1 用紙をセットしないで、本機の電源を入れます。

メモ

プラテンローラーのお手入れをするときに、用紙がセットされている場合は、用紙送りが実行され、用紙は排出されます。

2 クリーニングシートを本機に挿入します。イラストに示しているように、本機を正面から見て、「CLEANING SHEET」の面を上にします。ローラーがクリーニングシートを引き込みます。

3 イラストに示しているように、クリーニングシートの上半分の裏紙をはがしてください。

メモ

クリーニングシートの下半分の裏紙は、はがさないでください。

4 ⇧(フィード)ボタンを 2 秒以上押してください。本機がクリーニングシートを送り、排出します。

メモ

- クリーニングシート以外のものでプラテンローラーのお手入れをしないでください。
- クリーニングシートは、プラテンローラーのお手入れだけにご使用ください。プラテンローラーのお手入れ以外では、使用しないでください。
- クリーニングシートの交換については、弊社または販売店へお問い合わせください。

本体のクリーニング

本機の外側の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

メモ

- 本機をぬれた布で拭いたり、水に入れないでください。
- ベンジン、アルコール、シンナーあるいは、研磨剤、アルカリ性や酸性の薬品は使用しないでください。本機が変形したり、変色したりする恐れがあります。

6 付録

表示ランプ

表示ランプは点灯したり、点滅して、本機の状態を示します。下記に示すイラストは、この章で使用する表示ランプの色とパターンの意味を示しています。

POWER	DATA	STATUS	(Bluetooth)[1]	内容
				AC アダプター、カーアダプター、リチウムイオン充電池使用中
				ニッケル水素充電池使用中
/				充電池使用中（容量フル）
/		(4 秒に 1 回)		充電池使用中（容量ハーフ）
/		(4 秒に 2 回)		充電池使用中（容量ロウ）
/		(1 秒ごと)		充電池使用中（要充電）
				ニッケル水素充電池放電中
				ニッケル水素充電池充電中
/				印刷中またはデータ受信中
/				バッファーに受信済みデータ有り
/				転送中
/				書き込み中

POWER	DATA	STATUS	(Bluetooth)[1]	内容
/				メンテナンスモード（本体設定印刷）
				システムエラー（ブラザーコールセンターまでお問い合わせください。）
				ニッケル水素充電池未装着で充電開始
				ニッケル水素充電池充電タイムアウト
/				印字ヘッドまたはモータークールダウン中
/				データ受信エラー
/				バッファーフルエラーまはたイメージ展開エラー
/				ブートモード中
				Bluetooth 接続準備完了

1　PJ-663 のみ

表示ランプ警告

<table>
<tr><th>内容</th><th>原因または解決方法</th></tr>
<tr><td>POWER 表示ランプが点灯しない</td><td>電源が供給されていません。

外付け電源をお使いの場合は、AC アダプターやカーアダプターが確実に接続されていること、電源コンセントから電気の供給がされていることを確認してください。詳しくは、「電源の接続」（1 ページ）をご覧ください。

DC 電源をお使いの場合は、ヒューズを確認してください。</td></tr>
<tr><td>ニッケル水素充電池未装着で充電開始</td><td>ニッケル水素充電池を充電しようとしても、本機が充電池を認識できません。

充電池やコネクタが壊れていないか、ニッケル水素充電池が正しく装着されているかを確認してください。詳しくは、「ニッケル水素充電池を装着する」（2 ページ）をご覧ください。

ニッケル水素充電池が正しく装着されている場合は、充電中に充電池が過熱したことが考えられます。ニッケル水素充電池を通常の温度に戻してから再度、おためしください。それでも、同様の症状が何度も現れる場合は、ニッケル水素充電池をお取り替えください。</td></tr>
<tr><td>ニッケル水素充電池充電タイムアウト</td><td>ニッケル水素充電池を充電するのに、時間がかかりすぎました（通常、満充電に必要な時間は 120 分です）。

ニッケル水素充電池をお取り替えください。</td></tr>
<tr><td>印字ヘッドまたはモータークールダウン中</td><td>サーマル印字ヘッドまたはモーターが高温になりました。

印字ヘッド：
サーマル印字ヘッドがさらに高温になると、用紙に余分な印刷がされる場合があります。印字が多く、印字濃度が濃い文書を多量に印刷すると、この現象が起こる場合があります。

本機は印刷を停止し、印字ヘッドを冷やします。そのあと、印刷を再開します。

この現象を回避するためには、印字濃度を薄く設定し、印字する量を減らしてください（文書から背景の陰影やグラフの色などを省きます）。また、本機は、密閉された場所ではなく、十分な換気を行える環境でご使用ください。

モーター：
連続使用すると、モーターが高温になります。この場合、本機は印刷を停止し、モーターを冷やします。そのあと、印刷を再開します。

メモ
高所（3,048 m / 10,000 feet 以上）など空気の薄いところでは、本機を冷やすために利用できる空気濃度が薄いため、このような現象が起きやすくなります。</td></tr>
</table>

6

内容	原因または解決方法
データ受信エラー	通信が不安定な IrDA 接続では、データが正しく受信できない場合があります。 携帯端末と本機（IrDA（赤外線）受発光部）を近づけて、もう一度、送信してください。
ブートモード中	ファームプログラムを更新している最中に電源アダプターを引き抜くと、次回電源を入れたとき、本機はブートモードで起動します。 この状態になったら、修理が必要です。販売店またはブラザーコールセンターまでお問い合わせください。

本体設定の印刷

コンピューターに接続しなくても、本機の設定レポートをレターサイズに印刷します（A4 サイズの用紙で収まります）。印刷内容には、本機のファームウェアのバージョン、画質、設定情報を含みます。

1. 用紙をセットしないで、本機の電源を入れます。
2. DATA 表示ランプが赤色に点灯するまで、（フィード）ボタンを 2 秒以上押します。
3. 弊社純正の感熱紙を本機に挿入します。自動的に本体設定の印刷が開始され、終了するとスタンバイモードに戻ります。

メモ

この操作は、PJ-600 シリーズ　ユーティリティでも行えます。詳しくは、「本体設定印刷」（39 ページ）をご覧ください。

7 困ったときは

概要

本機に問題が起きた場合は、初めに次の内容について、正しく対応しているかどうかを確認してください。

■ 本機に充電池を装着、もしくは本機を電源コンセントに接続していますか。詳しくは、「電源の接続」（1 ページ）をご覧ください。

■ 適切なプリンタードライバーを選択して、インストールしていますか。詳しくは、「プリンタードライバーのインストールとアンインストール」（10 ページ）をご覧ください。

■ 本機をコンピューターに接続していますか。詳しくは、「本機とコンピューターを接続する」（12 ページ）をご覧ください。

上記のことを確認しても、問題が解決しない場合は、この章をご覧ください。

用紙の問題

問題	解決方法
用紙がつまった	「紙がつまったときは」（25 ページ）をご覧ください。
用紙は送られるが、何も印刷されない	弊社純正の感熱紙をご使用ください。用紙の印刷できる面は片方のみです。用紙を確認して、本機正面から見て印刷できる面を下向きにしてセットしてください。詳しくは、「印刷する」（19 ページ）をご覧ください。 印刷濃度が適切か確認してください。詳しくは、「プリンタードライバーの設定」（21 ページ）をご覧ください。
モーターは動いているのに、用紙が送られない	排紙カバーが正しく閉まっているか確認してください。 弊社純正の感熱紙をご使用ください。厚い用紙を使用すると、送られない場合があります。 それでも問題が解決されない場合は、本機の故障が考えられます。販売店またはブラザーコールセンターまでお問い合わせください。

印刷の問題

問題	解決方法
印刷画像がゆがんでいる	弊社純正の感熱紙をご使用になり、正しく用紙送りされるか確認してください。詳しくは、「印刷する」（19 ページ）をご覧ください。 プラテンローラーが汚れていないか確認し、汚れていたらクリーニングしてください。詳しくは、「プラテンローラーのクリーニング」（41 ページ）をご覧ください。
印字が薄すぎる、もしくは、濃すぎる	プリンタードライバーで印刷濃度を調整してください。詳しくは、「印刷濃度の設定について」（20 ページ）をご覧ください。 弊社純正の感熱紙をご使用ください。
印刷画像が縮んだり伸びたりする	排紙カバーが開いていないか確認し、正しく閉めてください。 用紙が本機内で滑っていないか確認し、滑っていたらプラテンローラーをクリーニングしてください。詳しくは、「プラテンローラーのクリーニング」（41 ページ）をご覧ください。 弊社純正の感熱紙をご使用ください。しわのある用紙は使用しないでください。
上余白が正しくない	PJ-600 シリーズ　ユーティリティとアプリケーションで余白を正しく設定してください。必要に応じて、上余白と下余白を調整してください。 用紙を挿入するときは、強く押し込まず、静かに挿入してください。

問題	解決方法
左右の余白が均等でない	PJ-600 シリーズ　ユーティリティとアプリケーションで余白を正しく設定してください。必要に応じて、左を調整してください。 本機にセットした用紙に適切な用紙サイズをアプリケーション、本機、プリンタードライバーで設定したことを確認してください。 アプリケーションまたはプリンタードライバーで、異なった用紙の幅を設定した場合は、用紙の中央に印刷されません。必要に応じて調整してください。
正しい文字で印刷されない	アプリケーションで適切な文字セット（フォント）を設定しているか確認してください。必要に応じて、文字セットを変更してください。 文書で使用しているフォントを変更してみてください。
点が印刷される	プリンタードライバーが正しく設定されているか確認してください。 USB ケーブルが正しく、しっかりと接続されていることを確認してください。他の USB ケーブルを使用してみてください。
USB 接続時に本機を認識しない。 IrDA（赤外線）接続時に本機を認識しない。 Bluetooth 接続時に本機を認識しない。	・USB 接続で認識をしない場合： 別のインターフェイスで一度接続された可能性があります。電源を一旦切って、再度電源を入れてから印刷をしてください。本機は、電源を入れた後、最初に接続したインターフェイスを優先させます。 ・IrDA（赤外線）接続で認識をしない場合： PJ-663 をお使いの場合は、IrDA が使えるようになっているか、ご確認ください。Bluetooth 表示ランプが青く点灯している場合は、IrDA で接続できません。「IrDA 接続と Bluetooth 接続の切換え」（16 ページ）をご覧ください。 これ以外の場合は、USB 接続時と同じ方法をお確かめください。 ・Bluetooth 接続で認識をしない場合： PJ-663 をお使いの場合は、Bluetooth インターフェイスが使えるようになっているか、ご確認ください。Bluetooth 表示ランプが青く点灯していない場合は、Bluetooth で接続できません。「IrDA 接続と Bluetooth 接続の切換え」（16 ページ）をご覧ください。を参照ください。 これ以外の場合は、USB 接続時と同じ方法をお確かめください。

印字ができない

問題	解決方法
DATA 表示ランプが緑色に点灯しているのに、印刷されない	本機は受信したすべてのデータの印刷を完了していません。 用紙がセットされていない場合は、新しい用紙をセットしてください。用紙をセットしているのに印刷されない場合は、用紙を取り出してもう一度、セットしてください。印刷が開始されます。 印刷が開始されない場合は、本機の電源を切り、もう一度、電源を入れて文書を印刷してください。 本機にシンプルなアスキーテキストデータを送信するとき、問題が起こる可能性があります。行の最後に CR/LF コマンドが入っていなかったり、最終行に用紙送りのコマンドが入っていない場合は、本機はデータの送信を待っている可能性があります。他のページを印刷するか、(フィード）ボタンを押して、用紙を送ってください。
データを送信しているのに、本機の DATA 表示ランプが緑色に点灯しない	USB ケーブルが正しく、しっかりと接続されていることを確認してください。他の USB ケーブルを使用してみてください。

7

部分的に印刷される

問題	解決方法
データが本機に残っているのに、DATA 表示ランプが消灯する	コンピューターからすべてのデータが送信できなかったことが考えられます。もう一度、文書を送信して印刷してください。 正しくない用紙サイズのデータを送信したか、または、正しくない用紙サイズが本機にセットされていないか確認してください。アプリケーションとプリンタードライバーの用紙設定を適切なのもにしてください。アプリケーションで設定した用紙サイズにあった適切な用紙を本機にセットしてください。 プリンタードライバーの［**用紙排出モード**］が［フィードなし］に設定されていないことを確認してください。 (フィード）ボタンを押して、用紙を送ってください。
部分的に印刷され、DATA 表示ランプが点灯または点滅している	アプリケーションの用紙サイズ設定が正しいかどうか確認してください。

8 仕様

製品仕様

モデル名	PJ-623	PJ-663
外形寸法	255 （幅）x 55 （奥行き）x 30 （高さ）mm	
重量	約 470 g （充電池、用紙は含まず）	約 473 g （充電池、用紙は含まず）
印刷		
印刷方式	感熱方式	
印刷速度	平均：9.4 秒 / 枚（ただし、標準環境下の場合 [1]）	
印刷解像度	300 x 300 dpi	
印刷可能領域	プリンタードライバーで設定した場合（最小 94.7 x 22.8 mm ～ 最大 208.5 x 2531.6 mm）	
用紙サイズ	A4 （210 x 297 mm）、レター （216 x 279 mm）、リーガル （216 x 356 mm）	
電源		
充電池	ニッケル水素充電池：14.4 V リチウムイオン充電池：11.1 V	
アダプター	AC アダプター（15 V）	
車両アダプター	シガレットカーアダプター（12 V （DC））	
充電池印刷可能枚数（印字率 5 %、印刷濃度設定 5、満充電の充電池使用時）	ニッケル水素充電池：約 70 枚 リチウムイオン充電池：約 300 枚	
インターフェイス		
USB	USB Ver.2.0（フルスピード）（ミニ B タイプ、ペリフェラル）	
IrDA	Ver.1.2（IrCOMM、IrOBEX）	
Bluetooth	対応していません。	Ver. 2.0 + EDR 対応プロファイル SPP（Serial Port Profile）、BIP（Basic Imaging Profile）
ソフトウェア		
フォントサイズ	10 cpi、12 cpi、15 cpi、プロポーショナル（P-touch Template 使用時は、P-touch Template に基づく）	
フォント種類	明朝、ゴシック（P-touch Template 使用時は、P-touch Template に基づく）	
バーコード対応	対応（P-touch Template 使用時）	

モデル名	**PJ-623**	**PJ-663**
対応 OS	Windows® XP / Windows Vista® / Windows® 7 （USB） Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6（USB）	Windows® XP / Windows Vista® / Windows® 7 （USB、Bluetooth） Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6（USB、Bluetooth）
使用環境		
温度	5 - 35 °C	
湿度	30 - 80 %（結露がないこと）	
保管温度	-15 - 50 °C	
保管湿度	30 - 85 %（結露がないこと）	

[1] 示している数値は、環境によって異なります。「標準環境」とは次の通り：
A4 サイズ用紙に JEITA J1 パターンを連続印刷。USB インターフェイスと AC アダプターを使用。使用温度は、25 ℃。

8

A 文字セット

カタカナコード一覧

MSB>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
LSB 0			SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2			“	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	─	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			‘	7	G	W	g	w	█	│	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9			)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A			*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B			+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C			,	<	L	\	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D			-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	”	╱	▓
F			/	?	O	_	o		+	╯	ッ	ソ	マ	°	╲	

拡張グラフィックスコード一覧

MSB>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
LSB 0			SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2			“	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4			$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5			%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	a	╢	╞	╓	µ	÷
7			‘	7	G	W	g	w	ç	ù	o	╖	╟	╫	τ	≈
8			(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9			)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	●
A			*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	•
B			+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C			,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	^{n}
D			-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	ø	^{2}
E			.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	Є	▪
F			/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

イタリック文字コード一覧

MSB>	**0**	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**	**9**	**A**	**B**	**C**	**D**	**E**	**F**
LSB 0			SP	0	@	P	`	p			SP	0	@	P	`	p
1			!	1	A	Q	a	q			!	1	A	Q	a	q
2			“	2	B	R	b	r			“	2	B	R	b	r
3			#	3	C	S	c	s			#	3	C	S	c	s
4			$	4	D	T	d	t			$	4	D	T	d	t
5			%	5	E	U	e	u			%	5	E	U	e	u
6			&	6	F	V	f	v			&	6	F	V	f	v
7			‘	7	G	W	g	w			‘	7	G	W	g	w
8			(	8	H	X	h	x			(	8	H	X	h	x
9			)	9	I	Y	i	y			)	9	I	Y	i	y
A			*	:	J	Z	j	z			*	:	J	Z	j	z
B			+	;	K	[	k	{			+	;	K	[	k	{
C			,	<	L	\	l	¦			,	<	L	\	l	¦
D			-	=	M	]	m	}			-	=	M	]	m	}
E			.	>	N	^	n	~			.	>	N	^	n	~
F			/	?	O	_	o				/	?	O	_	o	Ø

国際文字一覧

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
USA	#	$	@	[	\	]	^	ʽ	{	¦	}	~
France	#	$	à	°	ç	§	^	ʽ	é	ù	é	¨
Germany	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	ʽ	ä	ö	ü	ß
United Kingdom	£	$	@	[	\	]	^	ʽ	{	¦	}	~
Denmark I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	ʽ	æ		å	~
Sweden	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
Italy	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
Spain I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	ʽ	¨	ñ	}	~
Japan	#	$	@	[	¥	]	^	ʽ	{	¦	}	~
Norway	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ		å	ü
Denmark II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ		å	ü
Spain II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ʽ	í	ñ	ó	ú
Latin America	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú
Korea	#	$	@	[		]	^	ʽ	{	¦	}	~
Legal	#	$	§	°				ʽ				

A